

政策・財政会議及び第5回宮城の将来ビジョン推進本部会議議事要旨

日 時 平成22年2月9日(火)9:05～9:50

場 所 行政庁舎4階「庁議室」

1 開 会

2 議 事

(1) 第3期財政再建推進プログラム(案)について

[総務部長より、資料1に基づき説明]

(質疑なし)

企画部長：第3期財政再建推進プログラム(案)について、原案のとおり決定してよろしいか。

(異議なし)

(2) みやぎ環境税(案)について

[環境生活部長より、資料2に基づき説明]

(質疑なし)

企画部長：みやぎ環境税(案)について、原案のとおり決定してよろしいか。

(異議なし)

(3) 宮城の将来ビジョン第2期行動計画(案)について

(4) 平成22年度重点事業(案)について

[政策課長より、資料3、4に基づき説明]

(5) 平成22年度みやぎ発展税の活用施策の概要(案)について

[経済商工観光部長より、資料5に基づき説明]

(質疑なし)

企画部長：宮城の将来ビジョン第2期行動計画(案)、平成22年度重点事業(案)、平成22年度みやぎ発展税の活用施策の概要(案)について、原案のとおり決定してよろしいか。

(異議なし)

(6) 平成21年度行政活動の評価の結果の反映(案)について

[行政評価室長より、資料6に基づき説明]

(質疑なし)

企画部長：平成21年度行政活動の評価の結果の反映（案）について、原案のとおり決定してよろしいか。

（異議なし）

（7）仙南工業用水道事業に係る公共事業再評価の結果の反映（案）について

〔公営企業管理者より、資料7に基づき説明〕

（質疑なし）

企画部長：仙南工業用水道事業に係る公共事業再評価の結果の反映（案）について、原案のとおり決定してよろしいか。

（異議なし）

知事：第3期財政再建推進プログラムで説明があったように、中期的な財政見通しについては、去年までは800から1200億円くらい財源が不足するということだったが、4年間で132億円の不足まで、圧縮できた。ただし、中身は借金したもので、決して余裕ができたのではないし、国政の状況が変わると、地方負担が増える可能性もあるので、全く油断はできない。

私も、国に対しては必要な財源措置を訴えていくが、更なる歳出抑制と歳入確保を図っていきたいので、それぞれの部署で歳入確保策についても知恵を絞ってもらいたい。

第3期財政再建推進プログラムと宮城の将来ビジョン第2期行動計画は、私の任期の4年に合致しており、任期中、責任をもってしっかりと取り組んでいく。

気になった点として、みやぎ発展税は税収が落ち込んでいて、導入当初30億円を見込んでいたが、来年度は21億円くらいしか基金への積立ができない。そのうち基金の充当額が14億円ということで、22年度だけで考えると、7億円くらいしか余裕がでてこない。

企業との約束である立地奨励金も確保しながら施策を組み立てて、みやぎ発展税を有効に活用してもらいたい。

行政評価については、各部局は該当する部分をしっかり見ていただいて、改めるべき点があると思うので、次年度に必ず反映してもらいたい。

長年の懸案事項であった仙南工業用水については、担当部署に頑張ってもらった。心から感謝申し上げたい。

3 閉 会